第240号 1909. 10. 16.

明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可 （日刊） 日曜及祭日の翌日休刊 明治四十二年十月十六日 （土曜日） 第二百四十號 （一）

# 京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

## ●現今政界の七傑（上）

雑報

政界の事情に精通せる某貴族院議員現時政界を評論品隲して談偶々政界人物論に及んで曰く凡そ政治家として宰相の印綬を帶び國政料理の任に膺るには財政、外交、軍事の三つの智識を具備せざる可からず而して現在我日本に於て總理大臣たるを得べき大政治家を物色し來れば伊藤公、桂侯、西園寺侯、大隈伯、伊東子、山本伯、寺内子の七人を獲べし今此等七人者の一長一短を比較評論せんに

▲伊藤公 は云ふまでもなく維新の元勳にして常に順潮に乘じて今日の位地を作れるもの兎も角我國政治家中の第一位に推さざる可からず然れども公は其の出身上外交的智囊の著しく發達して當世政治家中比儕を見ざるは事實なるも軍事上に至りては全然没交渉なるを免れざると同時に財政上の智識に就ても亦遺憾なきを得ず是れ公の地位聲望を以てして毎時の内閣組織も其終りを能くせざる所以か、莫遜公の養なひたる勢力は依然隱々たるものにして旗下に麾する士亦多士濟々たれば何時にても内閣の首班として起つの餘勢尚ほ存するを見る

▲桂侯 に至つては軍事は其出所たるが故に手のものにて財政外交上の智識亦乏しからず其技倆蓋し拔群と云ふ可し無かる可きも比較的各方面に於て完備せる資格を有せり殊に政治家の立場としては最大逆境のドン底まで陷りて而して其利鈍を試むるは其手腕を認識せらるゝ點に於て必要なる經驗なるに侯は彼のポーツマス條約の際殆んど全國民の反抗を贖ひ輿望全く地に墜ちて再び起つ能はざるの大逆境に陷りたるに拘らず僅々二年有半にして擁土重來途に今日の地位を贏ち得たるは確かに非凡の才能の然らしむる所と推服せざるを得ず並し侯の最大逆境に沈淪したる際逆境に處して精神的修養を積みたる點多大なる可きを信ず

▲西園寺侯 に至りては既に自ら内閣を組織したる經驗もあり且つ德望、實且共に備はり居るも惜むらくは政治家たるの要素たる粘着力に乏しく彼の政友會に對する態度の如きも殆んど路傍の人に對するが如く大差なく何時にても意に充たざれば棄てゝ顧みざるの風あり是れ個人としては恬淡公正稱に見るの人格たる可きも政治家としての資格は疑ひなきを得ず

▲米利堅 [illegible] 相場は特に [illegible] 治、アレ [illegible] 合の姿なる [illegible] 新入荷 [illegible] 下向の心配なからん

## ●最近釜山の商況

▲洋、金巾 原産地高價の報に接し一般に賣惜みの姿なり今後極冬の賣行を想像すれば或は品拂底を告ぐるも知る可らず

▲和、金巾 逐年韓人需用大に增加益好調なるも昨冬來一般不人氣一時荷閊へ勝ちなりしも見切格安の爲め僅に販路の命脈を繋ぎ來りしが昨今頓に形勢一變遂に品切の盛況となり頗る好氣配なり

▲紡績糸 例年に比しては賣行鈍きが如し要するに本年の糸價は太番高價の爲め織布の現價に對して織工手賃據からんとするに依る結果の如し故に綿糸賣行の回復は織布一般上向の後ならんと思はる

▲石油 時季柄一般需要增加各地より註文續出荷動き頗る活潑價格は今の處暫く變動なき如きも品手薄を氣遣ゆる者あり

▲精糖、秋果の季節は例年賣行鈍きが近年日本糖は上海方面へ輸出多く一面從來香港糖は其劣等品が神戸上等品と殆んど同一價位に在り從て内地より輸入の杜絶せると倚は本國原料糖の釜昂騰の爲め市價不相變强氣なり

## ●保税倉庫の近況

南大門關税出張所取扱貨物は先月來僅に增加し昨今は日々六十噸を超るに至れも唯年當期に比しても尚は增加の趨勢なるが遠は不景氣昨年より甚しき今日に在りて不思議なる如きも畢竟在留民の增加其原因なる故に取扱貨物も綿糸、夜具、着類、砂糖等主なるものにて殊に逐年化粧品の著しき增加は以て其奢侈風潮の高まれるを證するに足らん

保税倉庫利用は依然周知せられず民間設立の漢城共同倉庫（目下擴張倉庫增設中）は天一銀行附屬倉庫及百三十銀行殺の三倉庫は相當の取扱貨物あるも保税倉庫の如きは防火其他の設備周到なるに係らず之を利用する者少きは保倉は金融上手數を要する爲め融通の敏活を缺くの嫌あるもの其大原因なりと

## ●最近全國の賊狀

全國賊勢は益減退漸次靜穩に赴きつゝあり其徴の最も顯著なるは全南地方とす京畿北部に於ける鄭客太姜基東等の徒少數徘徊せるは依然たり黄海南部瀧螺臺附近は小賊稍走後平穩なりしが近來出顯稍不穩なり慶北奉化順興地方の賊勢は搜討頻繁なる爲め著しく減退し賊魁金相泰は一時部下を散せしめ近時有力なる集群頗る減せり忠北丹陽清風地方は尚ほ小賊の出没あるも從前に比し大に減じ其他咸南の平安に接せる地方に小賊ある外概ね平穩なり

## ●八月中憲兵の賊討數

最近の調査に依れば八月中憲兵の賊徒と衝突せる回數三十二回出會數賊五百十九我兵員百七十八消費彈藥二千四百四十五賊死五十三傷四十一逮捕八銃獲雜銃六十五にして衝突せざるも賊の出没を知り憲兵の出動せしは回數三百九十四回賊數五千四百六十名

## 第九席 伯山改 神田松鯉口演

ことである此鶴こそ我が曾祖父義家公の放ち給ひしものであり、昔し朝州前九年の戰に我が遠祖頼義公御父子、夥多の逆徒を退治し給ひ、後三年の戰には安倍貞任を討取り、敵の首は殘らず途中に埋められしかど耳を殺いで都へ上し、六條坊門の北なる西の院の邊に埋めて、上に一字の堂を建立し給ひしが、是れ今の耳納堂である、其頃義家朝臣も、彼の地にて亡者追福の爲め夥多の鶴に黄金の牌を付けて放し給ひしと聞き候らはねど、或て自ら飛ばんともせず、柔順に某に抱かれました、又金の細き鎖もて黄金の牌が結び付けてあり、君の弓勢强くして鎖切れ、牌は鶴の傍に落散り居りましたから拾ひ取つて參り候」と申す 爲「オヽ、左樣でありつるか、とれ〳〵其の牌を見せよ」と手に取上げ御覽になると「康平六年三月廿四、源朝臣義家放焉」と彫付けて爲朝は打驚き給ひて 爲「コハ懷しき形見なり、我が曾祖父義家公の放ち給ひしものであり、昔し朝州前九年の戰に我が遠祖頼義公御父子、夥多の逆徒を退治し給ひ、後三年の戰には安倍貞任を討取り、敵の首は殘らず途中に埋められしかど耳を殺いで都へ上し、六條坊門の北なる西の院の邊に埋めて、上に一字の堂を建立し給ひしが、是れ今の耳納堂である、其頃義家朝臣も、彼の地にて亡者追福の爲め夥多の鶴に黄金の牌を付けて放し給ひしと聞き候、大隈伯、伊東子、山本伯、寺内子の七人を獲べし今此等七人者の一長一短を比較評論せんに

▲伊藤公 は云ふまでもなく維新の元勳にして常に順潮に乘じて今日の位地を作れるもの兎も角我國政治家中の第一位に推さざる可からず然れども公は其の出身上外交的智囊の著しく發達して當世政治家中比儕を見ざるは事實なるも軍事上に至りては全然没交渉なるを免れざると同時に財政上の智識に就ても亦遺憾なきを得ず是れ公の地位聲望を以てして毎時の内閣組織も其終りを能くせざる所以か、莫遜公の養なひたる勢力は依然隱々たるものにして旗下に麾する士亦多士濟々たれば何時にても内閣の首班として起つの餘勢尚ほ存するを見る

▲桂侯 に至つては軍事は其出所たるが故に手のものにて財政外交上の智識亦乏しからず其技倆蓋し拔群と云ふ可し無かる可きも比較的各方面に於て完備せる資格を有せり殊に政治家の立場としては最大逆境のドン底まで陷りて而して其利鈍を試むるは其手腕を認識せらるゝ點に於て必要なる經驗なるに侯は彼のポーツマス條約の際殆んど全國民の反抗を贖ひ輿望全く地に墜ちて再び起つ能はざるの大逆境に陷りたるに拘らず僅々二年有半にして擁土重來途に今日の地位を贏ち得たるは確かに非凡の才能の然らしむる所と推服せざるを得ず並し侯の最大逆境に沈淪したる際逆境に處して精神的修養を積みたる點多大なる可きを信ず

▲西園寺侯 に至りては既に自ら内閣を組織したる經驗もあり且つ德望、實且共に備はり居るも惜むらくは政治家たるの要素たる粘着力に乏しく彼の政友會に對する態度の如きも殆んど路傍の人に對するが如く大差なく何時にても意に充たざれば棄てゝ顧みざるの風あり是れ個人としては恬淡公正稱に見るの人格たる可きも政治家としての資格は疑ひなきを得ず

## ●最近全國の賊狀

全國賊勢は益減退漸次靜穩に赴きつゝあり其徴の最も顯著なるは全南地方とす京畿北部に於ける鄭客太姜基東等の徒少數徘徊せるは依然たり黄海南部瀧螺臺附近は小賊稍走後平穩なりしが近來出顯稍不穩なり慶北奉化順興地方の賊勢は搜討頻繁なる爲め著しく減退し賊魁金相泰は一時部下を散せしめ近時有力なる集群頗る減せり忠北丹陽清風地方は尚ほ小賊の出没あるも從前に比し大に減じ其他咸南の平安に接せる地方に小賊ある外概ね平穩なり

## ●保税倉庫の近況

南大門關税出張所取扱貨物は先月來僅に增加し昨今は日々六十噸を超るに至れも唯年當期に比しても尚は增加の趨勢なるが遠は不景氣昨年より甚しき今日に在りて不思議なる如きも畢竟在留民の增加其原因なる故に取扱貨物も綿糸、夜具、着類、砂糖等主なるものにて殊に逐年化粧品の著しき增加は以て其奢侈風潮の高まれるを證するに足らん

保税倉庫利用は依然周知せられず民間設立の漢城共同倉庫（目下擴張倉庫增設中）は天一銀行附屬倉庫及百三十銀行殺の三倉庫は相當の取扱貨物あるも保税倉庫の如きは防火其他の設備周到なるに係らず之を利用する者少きは保倉は金融上手數を要する爲め融通の敏活を缺くの嫌あるもの其大原因なりと

●祝開業三週年●

江湖御客樣方の御引立に預り日まして繁榮に赴き誠に難有仕合に奉存候就きましては本年は恰も開業三週年に相當致候得者自祝の意を表する爲め當分の内左記之通り特別大勉强仕候間賑々敷御光來の程伏して奉待上候あらゝ可祝

會席二膳附 並等 壹圓半
特等上等 壹圓
特等貳 圓

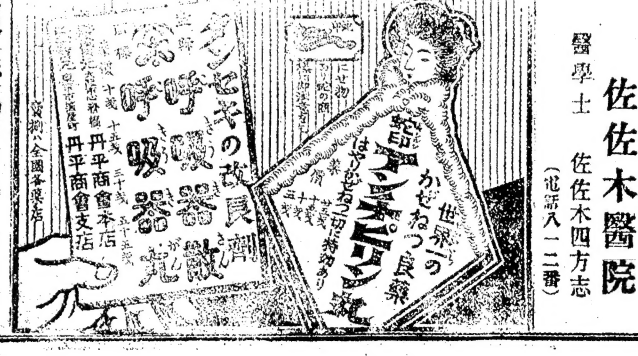
但御酒は上記代金の内にて召上り次第なしにて

尚々十人以上の御宴會は御人數に應じ花代相應の藝妓をして御座敷を斡旋致させ申候

京城大和町三丁目
電話七三三五
梅の家

廣告

マルイド 京城永樂町 梅原支店 東壹八九番



京城明治町一丁目
醫學士 佐佐木醫院
佐佐木四方志
（電話八一二番）

# 美術半衿帶上帶締其他紐類各種

京城南治町一丁目　紐ゑり德商店

## 京城新報

### 官紀振肅論

官紀振肅、官吏の淘汰に就ては、曾て余輩の屢々論じたる所、之を勵行するに非ざれば、到底政務を敏捷に進行するの能はざるのみならず、其弊害の及ぼす所蓋し鮮少ならざれば也、官紀の弛廢は中央地方を通じて實際目に餘る程にして最早爭ふ可らざるの事實たらんか、官吏の淘汰に至りては更に急を要するの感なくんばあらず、總ての事は其人物によりて運用の巧拙あり、適材を適所に置くに非ざれば事蹟は擧らず、現在に於ける邦人官吏は果して適材を適所に得たるものとするか、余輩は遺憾ながらこれを認むる能はず、是を以て余輩は統監更迭當時に於て、愚僻を一新するに非ざれば、到底新統監の所信を斷行する能はざるべきを警告したりき、要するに官紀の振肅を機として、現在の官吏に大淘汰を行ひ眞個に適材を擧るは統監政治の展進を計る所以也曾禰統監も曩近官紀の弛廢に就ては憂る所ありと聞く、珍しくも機關紙京城日報が官紀振肅論を呼號するに至れるは聊か珍とするに足る、亦一昨十四日報ぜらるゝ所に依れば「伊藤統監時代より日本人官吏中不正行爲あり官紀弛廢し識者の憂慮する所也しが曾禰統監は近頃官紀の振肅を以て最急務なりとし過般來種々調査中の所之が第一着手として一昨日各官衙に於て判任官は依願免官、奏任官以上は始末書を徵したるものありし由なるが尚順次各地方に及び夫れより韓人側に至る筈也と」之れ素より亟當の所置にして、余輩を以てすれば此斷行の甚だ遲かりしを慨ひ、然れども遲れたりとは云へ、其實現の端を見るに至りしは喜べき事なりとす。

不正行爲ある官吏を罰して之を淘汰するは勿論爲すべき事なれども、單に之のみにては官吏の不正行爲を取締るに止まる、余輩の望む所は此機會に於て、不能者を黜けて有能者を重用するの快擧を斷行することも、不正行爲者が統監政治を害よは無論なれども、無能者跋扈して有爲者の進路を塞ぐも亦統監政治の障害也、眞に官紀を振肅せんと欲すれば、不正行爲あるものを黜陟すると共に、無能者を黜けて有爲の人物を擧げざる可らず、官紀振肅は官吏の大淘汰によりて始て斷行せらるべし、余輩は曾禰統監が快刀一揮以て此快擧に出でんことを切望するもの也。

山縣公は曾て故後藤伯が農商務大臣たり當時、取引所問題等に於て官紀の紊亂せるを慨して、其衝に當て快刀の亂麻を斷つが如くに官紀の振肅を勵行して人心を新にしたりき、曾禰子爵は公の直參と云はるゝと共に其斷も亦公に劣らずとの世評あり、果して然らば機に於て得意の鋒を實行して、人心を新に、統監政治に一新生面を開展せらるべき也。

## 東京電報

▲我東宮の御陞進　來る天長の佳節を以て我皇太子殿下には陸海軍中將に御昇進あらせらるゝ由同時に東伏見宮依仁親王殿下は海軍少將に御昇進相成べしと承はる（十四日夜着電）

▲未曾有の大演習　來る大演習は陸軍創始以來の大計畫にして戰線區域は南栃木縣那珂川の分岐點三斗原に始まり福島縣白河山岡村に至り北は栃木縣河内郡雀宮村より福島縣白川町に至り西は宇都宮東に福島縣喜矢に及び東西十餘里南北五里に亘る一大戰線を畫き大兵の操縱演習の好適地なるを以て其活動目を蔑かすものある可し（十五日發）

▲大演習監督部の決定　來る十一日擧行の陸軍大演習監督部左の通決定す

南軍司令官　陸軍大將　西寛二郎
同　參謀長　陸軍少將　落合豐三郎
北軍司令官　陸軍大將　長谷川好道
同　參謀長　陸軍少將　重見熊雄

▲三角航路費の削除　日韓新航路即ち敦賀、舞鶴、元山、城津、清津の航路開始費は去る十三日の閣議に於て否定削除されたり（同上）

▲豫算査定と閣議　四十三年度豫算概算は廿一日閣議に付すべし新事業に對しては不得已者を除く外一切削除する方針を以て査定したるも財源に多少餘裕あるを以て閣議に於て必要と認めたるものに蘇生復活する筈なり而して各省の要求せる增額及新事業を悉く認ひれば四千万圓位に達するも結局千八百萬圓位應求すると得可と大藏當局は語り（同上）

▲元帥の貴賓優遇　キッチナ元帥來京の上は皇室の貴賓として優遇を賜はり芝離宮を充つ可く仰出されたり

▲伏見宮妃御着發　伏見若宮妃殿下十二日波南發コロンボに向ひ十六日迄同地御滯在の由（同上）

▲陸軍大學生演習　陸軍大學三學年生の旅行演習は昨十四日より十一月二日迄三週間の豫定にて埼玉、群馬、栃木、福島の四縣下に擧行すべく出發せり（同上）

▲西園寺侯の歸期　展墓の爲め入洛中なる西園寺侯は十九日歸京す可（同上）

▲地租輕減と調査　憲政本黨非改革派は十八日地租輕減調査會を開く筈

▲被捕船釋放さる　露領沿海州にて規定の漁場外より漁獲を買收したりとて露國官憲に船体を沒收ゆられたる熊雄丸は其筋の調査により犯則に非ざるを認め交渉の結果釋放せられたり（同上）

▲外國武官の招宴　寺內陸相は特別大演習の陸軍に來朝すべき各國武官を十一月二日官邸に招待懇親會を開く筈

▲官鐵收入の減少　官鐵全線に於ける去月下旬の營業收入は二百二十四萬圓にして前年に比し二萬三千三百十四圓を減せり（同上）

▲漁業稅の納付濟　沿海州に於ける我漁業者下半期の漁稅は昨十四日露政廳へ納付せりと（同上）

▲地租輕減の將來　東海道筋を根據とせる各派代議士は今期議會に宅地附加稅修正案及び耕地々價修正案を提出せんとし在京代議士と打合中なれば或は今期議會の一問題たらしむるを得べし然れども貴族院の形勢反對の傾向あれば通過は困難ならんと察せらる（同上）

▲耕地整理法施行　明十六日より施行の新耕地整理法は最に八縣より認可を申請したる一萬五千町歩は舊法により認可し其他新法施行後認可す可きものは一萬町歩にして栃木縣の一口四千町歩福岡縣の六百町歩聯合の三千五百町歩等最も大區域なりと云へり（同上）

▲京都の虎疫猖獗　京都嵐山附近にてコレラ發生したるが其勢ひ猖獗にして死亡既に五十餘名に達したり（同上）

▲英國艦隊の入港　ラムトン中將の率ゆる英國支那艦隊は昨日橫濱に入港

## 下の關電報

▲伊藤公爵の着發　伊藤公爵の一行は本日午后八時廿五分着奉帆樓に一泊明日午后鎭嶺丸に搭乘大連に向ひ解纜十八日大連着の筈隨員は高等官五名其他緣故者等にて當地よりは貴族院議員室田義文氏同伴すべし（十五日發）

▲鹿兒島線の直通　鹿兒島線人吉、吉松間近々落成に付き東京鹿兒島線の直通列車を運轉する筈にて新橋下の關間隻從二回の直通列車に連絡相互間四十六時間乃至四十九時間にて到着すべし

## 北京電報

▲鐵道借欵の解決　那桐及び徐世昌は粵漢、川漢鐵道借欵の件に關し英、米、佛、日の四國代表者と會見の結果近日解決し上奏裁可を經勅令を以て發布さるゝことしなりたり（十五日）

## 紐育電報

▲米國と對清態度　クレーン氏罷免問題に關し米國政府側にては日本の對清態度に付て如何なる程度迄歩を進むべきやに付ては何等決定する所なしと廣告せり（十四日東京經由）

## 倫敦電報

▲財政案と英上院　英國政府は萬一上院が財政案の通過を拒止する場合には選擧人多數の意嚮を問ふ爲め之を人民に審議すべきや否や之を研究中にて

▲韓銀株拂込終了　韓國銀行株金昨日迄に全部拂込みを終はり二十九日總會

▲陸海軍事會議　英國海軍國防會議は陸海軍中將を以て我皇太子殿下には陸海軍中將に御昇進あらせらるゝ由同時に東伏見宮依仁親王殿下は海軍少將に御昇進相成べしと承はる（十四日東京經由）

▲英國陸海軍會議　英國海軍國防會議は陸海軍々事會議の設立を發表せんとし又軍事計畫を建つる目的を以て新海軍動員術組織せられたり（同上）

## 雜報

●來年度土木事業　土木局所管治水費、整備費、道路橋梁修理費、道路費、漢城內大川浚渫費、漢城市街改良費、漢城土木費、五大江調査費、土木調査費、土木費、水道敷設調査費、仁川水道工事費（既定）（新規）（同）（同）（同）（既定）（新規）（既定）（同）（既定）

| | |
|---|---|
| 治水費 | 三百、三六、四〇 |
| 道路費 | 三百、〇〇〇 |
| 橋梁修理費 | 三百、六〇〇 |
| 漢城內大川浚渫費 | 三百、九百 |
| 漢城市街改良費 | 三百、二五五 |
| 漢城土木費 | 五、七六〇 |
| 五大江調査費 | 三百、三六、五 |
| 土木調査費 | 三百、三六、五 |
| 水道敷設調査費 | 三百、三六、五 |
| 仁川水道工事費 | 三百、三六、五 |

右に付き第一既定治道費は光武十年より隆熙四年に至る繼續事業にして總額二百四十九万六千圓、四年度年割額二十九万四千圓費を治道費中より支出し以降經常部に繼ぐべき事務即ち隆熙四年度に於て二十五萬一千三百六十九圓の不足を生じしも以て四年度要求は右二十五万一千三百六十九圓を追加し第五新規治道費は隆熙四年度より五ヶ年繼續事業として新に要求するものにして總額四百八十六萬四千八百圓なり這は既定治道線外に於ける重要なる都會、停車場、駐在所、港灣等を中心とし交通の利便を計る目的にて要求したるもの第三道路橋梁修理費は既定治道の修理費、第四漢城內大川浚渫費は毎四年に浚渫すべきものを光武二年より十二ヶ年間放棄し以て計上したるもの第五漢城市街改良費及漢城土木費は案の如く第七五大江調査費は洛東、癸山、錦、漢、大同の五江浚渫調査費にして七ヶ年總續事業にて總額百三十五万八千五百三十一圓の年割額なり第八土木調査費は地方費を以て各道に治道を起す可きも調査機關なきを以て土木局の爲めに計上し第九水道敷設調査費なり第十仁川水道工事費は前年來の繼續事業にして本年度年割額七十一萬九千四百〇八圓より少なきも這は來年度に於て癸丑事の幾分を繰成すべきを以てなり尙右の外平壤水道費歲入歲出豫算及仁川同上に於て歲出超過二萬算要求總額は二百卅七萬九千五百六十八圓也

▲違式法律と農相　法律第六十七號違式事件は本月廿日より左記各地に區裁判所を開廷す

| | |
|---|---|
| 驪州、江陵、江華、密陽、金海、河東 | 各大臣の避病院視察 |

李總理大臣以下各部大臣は本日午前藤田軍醫監、岡次官の案內にて順化病院を視察す

●豫備金支出發表　一昨日の官報を以て左の通豫備金支出の件發表せらる

▲水道栓開放延期　水道栓開放は來る廿五日を以て契約滿了の筈なるも臨生上注意すべきものあるを以て一ヶ月を延期す

●趙民熙氏の渡日　一學部大臣の候補者を以て目され居る趙民熙氏は韓人

●東拓事件の延期　峯岸繁太郎氏對東洋拓殖會社の訴訟事件は昨十五日午前九時より法務院に於て開廷する筈にて被告東拓辨護士岡田榮、原告辨護士高橋章之助、岩川廣濟、岩田仙宗、木尾虎之助、岩本英夫の六氏及び本人峯岸氏等出席せしも右は都合に依り延期されたり

●新設區裁判所の開廳　本月廿日より左記各地に區裁判所を開廳す

●違式法律と農相　法律第六十七號違式事件は本月廿日より左記各地に區裁判所を開廳す

| | |
|---|---|
| 驪州、江陵、江華、密陽、金海、河東 | 各大臣の避病院視察 |

李總理大臣以下各部大臣は本日午前藤田軍醫監、岡次官の案內にて順化病院を視察す

●豫備金支出發表　一昨日の官報を以て左の通豫備金支出の件發表せらる

▲水道栓開放延期　水道栓開放は來る廿五日を以て契約滿了の筈なるも臨生上注意すべきものあるを以て一ヶ月を延期す

●趙民熙氏の渡日　一學部大臣の候補者を以て目され居る趙民熙氏は韓人

●鐵道豫算の細目　英國海軍國防會議は陸海軍中將に御昇進あらせらるゝ由同時に東伏見宮依仁親王殿下は海軍少將に御昇進相成べしと承はる（十四日夜着電）

▲未曾有の大演習　來る大演習は陸軍創始以來の大計畫にして戰線區域は南栃木縣那珂川の分岐點三斗原に始まり福島縣白河山岡村に至り北は栃木縣河内郡雀宮村より福島縣白川町に至り西は宇都宮東に福島縣喜矢に及び東西十餘里南北五里に亘る一大戰線を畫き大兵の操縱演習の好適地なるを以て其活動目を蔑かすものある可し（十五日發）

▲大演習監督部の決定　來る十一日擧行の陸軍大演習監督部左の通決定す

南軍司令官　陸軍大將　西寛二郎
同　參謀長　陸軍少將　落合豐三郎
北軍司令官　陸軍大將　長谷川好道
同　參謀長　陸軍少將　重見熊雄

▲三角航路費の削除　日韓新航路即ち敦賀、舞鶴、元山、城津、清津の航路開始費は去る十三日の閣議に於て否定削除されたり（同上）

▲豫算査定と閣議　四十三年度豫算概算は廿一日閣議に付すべし新事業に對しては不得已者を除く外一切削除する方針を以て査定したるも財源に多少餘裕あるを以て閣議に於て必要と認めたるものに蘇生復活する筈なり而して各省の要求せる增額及新事業を悉く認ひれば四千万圓位に達するも結局千八百萬圓位應求すると得可と大藏當局は語り（同上）

▲元帥の貴賓優遇　キッチナ元帥來京の上は皇室の貴賓として優遇を賜はり芝離宮を充つ可く仰出されたり

▲伏見宮妃御着發　伏見若宮妃殿下十二日波南發コロンボに向ひ十六日迄同地御滯在の由（同上）

▲陸軍大學生演習　陸軍大學三學年生の旅行演習は昨十四日より十一月二日迄三週間の豫定にて埼玉、群馬、栃木、福島の四縣下に擧行すべく出發せり（同上）

▲西園寺侯の歸期　展墓の爲め入洛中なる西園寺侯は十九日歸京す可（同上）

▲地租輕減と調査　憲政本黨非改革派は十八日地租輕減調査會を開く筈

▲被捕船釋放さる　露領沿海州にて規定の漁場外より漁獲を買收したりとて露國官憲に船体を沒收ゆられたる熊雄丸は其筋の調査により犯則に非ざるを認め交渉の結果釋放せられたり（同上）

▲外國武官の招宴　寺內陸相は特別大演習の陸軍に來朝すべき各國武官を十一月二日官邸に招待懇親會を開く筈

▲官鐵收入の減少　官鐵全線に於ける去月下旬の營業收入は二百二十四萬圓にして前年に比し二萬三千三百十四圓を減せり（同上）

▲漁業稅の納付濟　沿海州に於ける我漁業者下半期の漁稅は昨十四日露政廳へ納付せりと（同上）

▲地租輕減の將來　東海道筋を根據とせる各派代議士は今期議會に宅地附加稅修正案及び耕地々價修正案を提出せんとし在京代議士と打合中なれば或は今期議會の一問題たらしむるを得べし然れども貴族院の形勢反對の傾向あれば通過は困難ならんと察せらる（同上）

▲耕地整理法施行　明十六日より施行の新耕地整理法は最に八縣より認可を申請したる一萬五千町歩は舊法により認可し其他新法施行後認可す可きものは一萬町歩にして栃木縣の一口四千町歩福岡縣の六百町歩聯合の三千五百町歩等最も大區域なりと云へり（同上）

▲京都の虎疫猖獗　京都嵐山附近にてコレラ發生したるが其勢ひ猖獗にして死亡既に五十餘名に達したり（同上）

▲英國艦隊の入港　ラムトン中將の率ゆる英國支那艦隊は昨日橫濱に入港

## 下の關電報

▲伊藤公爵の着發　伊藤公爵の一行は本日午后八時廿五分着奉帆樓に一泊明日午后鎭嶺丸に搭乘大連に向ひ解纜十八日大連着の筈隨員は高等官五名其他緣故者等にて當地よりは貴族院議員室田義文氏同伴すべし（十五日發）

▲鹿兒島線の直通　鹿兒島線人吉、吉松間近々落成に付き東京鹿兒島線の直通列車を運轉する筈にて新橋下の關間隻從二回の直通列車に連絡相互間四十六時間乃至四十九時間にて到着すべし

## 北京電報

▲鐵道借欵の解決　那桐及び徐世昌は粵漢、川漢鐵道借欵の件に關し英、米、佛、日の四國代表者と會見の結果近日解決し上奏裁可を經勅令を以て發布さるゝことしなりたり（十五日）

## 紐育電報

▲米國と對清態度　クレーン氏罷免問題に關し米國政府側にては日本の對清態度に付て如何なる程度迄歩を進むべきやに付ては何等決定する所なしと廣告せり（十四日東京經由）

## 倫敦電報

▲財政案と英上院　英國政府は萬一上院が財政案の通過を拒止する場合には選擧人多數の意嚮を問ふ爲め之を人民に審議すべきや否や之を研究中にて

▲韓銀株拂込終了　韓國銀行株金昨日迄に全部拂込みを終はり二十九日總會

▲陸海軍事會議　英國海軍國防會議は陸海軍中將を以て我皇太子殿下には陸海軍中將に御昇進あらせらるゝ由同時に東伏見宮依仁親王殿下は海軍少將に御昇進相成べしと承はる（十四日東京經由）

▲英國陸海軍會議　英國海軍國防會議は陸海軍々事會議の設立を發表せんとし又軍事計畫を建つる目的を以て新海軍動員術組織せられたり（同上）

## 雜報

●來年度土木事業　土木局所管治水費、整備費、道路橋梁修理費、道路費、漢城內大川浚渫費、漢城市街改良費、漢城土木費、五大江調査費、土木調査費、土木費、水道敷設調査費、仁川水道工事費（既定）（新規）（同）（同）（同）（既定）（新規）（既定）（同）（既定）

| | |
|---|---|
| 治水費 | 三百、三六、四〇 |
| 道路費 | 三百、〇〇〇 |
| 橋梁修理費 | 三百、六〇〇 |
| 漢城內大川浚渫費 | 三百、九百 |
| 漢城市街改良費 | 三百、二五五 |
| 漢城土木費 | 五、七六〇 |
| 五大江調査費 | 三百、三六、五 |
| 土木調査費 | 三百、三六、五 |
| 水道敷設調査費 | 三百、三六、五 |
| 仁川水道工事費 | 三百、三六、五 |

右に付き第一既定治道費は光武十年より隆熙四年に至る繼續事業にして總額二百四十九万六千圓、四年度年割額二十九万四千圓費を治道費中より支出し以降經常部に繼ぐべき事務即ち隆熙四年度に於て二十五萬一千三百六十九圓の不足を生じしも以て四年度要求は右二十五万一千三百六十九圓を追加し第五新規治道費は隆熙四年度より五ヶ年繼續事業として新に要求するものにして總額四百八十六萬四千八百圓なり這は既定治道線外に於ける重要なる都會、停車場、駐在所、港灣等を中心とし交通の利便を計る目的にて要求したるもの第三道路橋梁修理費は既定治道の修理費、第四漢城內大川浚渫費は毎四年に浚渫すべきものを光武二年より十二ヶ年間放棄し以て計上したるもの第五漢城市街改良費及漢城土木費は案の如く第七五大江調査費は洛東、癸山、錦、漢、大同の五江浚渫調査費にして七ヶ年總續事業にて總額百三十五万八千五百三十一圓の年割額なり第八土木調査費は地方費を以て各道に治道を起す可きも調査機關なきを以て土木局の爲めに計上し第九水道敷設調査費なり第十仁川水道工事費は前年來の繼續事業にして本年度年割額七十一萬九千四百〇八圓より少なきも這は來年度に於て癸丑事の幾分を繰成すべきを以てなり尙右の外平壤水道費歲入歲出豫算及仁川同上に於て歲出超過二萬算要求總額は二百卅七萬九千五百六十八圓也

▲違式法律と農相　法律第六十七號違式事件は本月廿日より左記各地に區裁判所を開廳す

| | |
|---|---|
| 驪州、江陵、江華、密陽、金海、河東 | 各大臣の避病院視察 |

李總理大臣以下各部大臣は本日午前藤田軍醫監、岡次官の案內にて順化病院を視察す

●豫備金支出發表　一昨日の官報を以て左の通豫備金支出の件發表せらる

▲水道栓開放延期　水道栓開放は來る廿五日を以て契約滿了の筈なるも臨生上注意すべきものあるを以て一ヶ月を延期す

●趙民熙氏の渡日　一學部大臣の候補者を以て目され居る趙民熙氏は韓人

●鐵道豫算の細目

日刊（月曜及祭日翌日休刊） 明治四十二年十月十六日 樂城新報 （土曜日） 第二百四十號 （三）

## 病院訪問記（一）

記者頃日小閑を得て病にもなる京城の病院巡りを思ひ立つた、素より醫學には全然門外漢のようなれば專門的に深く學理に立入つた事は知らぬ、否や實は嫌たくないのだ唯夫れ市内專門の病院を訪問して素人向きに報道して貰を逃るゝ耳（藤子）

### 梅毒專門 資生病院

先づいの一番に白羽を立てゝ訪問の光榮を得たのが南大門通りの梅毒專門資生病院だ拆悪しく院長は欲悪ありて横臥中で院長代理某と診察所で對座二十分間、時に十月十四日午前十一時三十分也。

院長薄田耕平氏は醫學得業士で同地で六年間梅毒專門の診察に從事せられ醫長を務めて居た人だ、同院には毎日通院患者が五十人位で内新患者の診察は一日平均七八人位だそうだ、一體學理上梅毒發生期は十月頃から翌年二三月迄が最も患者が多い、同院は西部警察署の半囘托醫となつて龍山青坡、太平町、長谷川町、西小門通りの飲食店料理屋の酌婦約百五十人を毎月二囘檢梅して居るが割合に有毒者は少なく平均一囘の檢梅に百六人位しかない、是等の多數の酌婦を檢梅するには其筋から何等具體的の契約もなければ亦補助金もない、けれども目下の處同院では殆んど所謂仁術的に一面廣告的にやつて居る而して酌婦の拘主から一囘の診察に一人に付金二十錢の手數料を取つてゐる、韓人の患者は一日通常五六人しかない、韓國婦人は單獨に診察を乞ふ者は殆んど無いと云つていい位だ大抵其夫か或は家族の者から生殖器に異情があるから施藥をして貰いたいと云よて來る、其時は一應患者を診察しなければ絶對に投藥し難いと言ひ聞かすれば直ぐ男子の保證者同伴で厳や〳〵ながら受診するとなるが診察所には當局醫師と補助看護婦の外出入せしめず患者の名譽と信用を尚び相當の設備ある室であるのに韓婦人の室に這入る時は恰も屠所の羊のそれの如く面かも其く恥辱の念に駆られてゐる觀がある、そして韓人中には病氣全治してから住所などを偽稱して藥價を支拂はぬ者が尠くないのには困ると云ふてこぼしてゐた、近頃當院の發展策として韓人で少し醫學の心得ある日本語に通ずる者を一人傭つて居るが韓人患者中の廣告になつて患者吸集上なか〳〵成績がよろしい同院では患者の希望なき限り如何にも重患者と雖ども強いて入院せしめず自宅から通院せしむる方法を採つてゐる、目下仁川永登浦からの二三人の入院者があるとのことだ樂品及び醫材に有名なる神戸十八番の英國藥種商會から取寄せてゐるが大抵のものが新非藥類で間に合ふのです、因に薄田院長は韓國に於ける梅毒病に關し頗る造詣なる論文を起稿し已に三十頁を脱稿したれば何れ完結の上は當地某新聞紙上にて之を發表し況く醫界の意見を叩くやに聽けり。

## ●靜子女郎の斬落

▲相手は鐵道廳の鐵筋殿

仁川花柳界は暮れ行く秋の哀れさと諸共に寂れ行きて昨今の淋しさはてんで話にならつたものにあらぬが隨つて二進も三進もつき兼ねる遣繰に自棄糞を起して「ドロンを極め込むものさへ現はるゝに至りたるこう憂たてけれ歌島遊廓は進捗の抱娼妓靜子事倉田よし（二十）と云へば本年三月頃渡韓して京城蓬萊町二丁目住の實父に當る倉田清藏方に滯在せる内地人大和町居住の鐵道管理局銀筋の大久保米次郎と不圖せし事より緣は異なもの妙なもとやら遂に深間となつて末は妻よ夫よと紋切型の起證文さへ取交したるが人事意の如くならざるは世の習へ漸て幾程もなくよしは浮り竹に流れを汲む境遇となりにけるも其後雨人は度々嫌悪を重ねて人知れず末を樂しみ居たる程に昨今の不景氣殊に互ひに無理算段せし揚句の果ては不義理の借金に首も廻らぬ仕義となり久保は去る十四日の夜京城黄金町和田菊造と偽名して同樓に登樓し翌朝未明兩人の姿は何れ共なく消（一）失せて行衛更らに別らぬようになりしに樓内の騒ぎは何に驚へつやくもあらず直に其筋に捜査願を差出すやら人を四方に走らすやら根堀り葉堀りして捜索し居れど今に行先判明せずとかや

## ●物騒千萬の仁川市中

▲ツヾく吃驚するに及ばず

時節柄物騒なる强盜騒ぎこそあり今其の顛末を報せんに去る八日仁川寺町二丁目の飲食店三日月亭抱酌婦廣本とよの（二）と云ふは仁川署に出頭して告訴すらく事は少しく古けれども本年四月頃自分が宮町二丁目のカル、ス湯へ入浴の爲め起かんとする途中乘て二三囘面識ある仁川港繫留扇武號乘組船員長崎生れの橋本岩藤（三）と云ふに邂逅せし處矢庭に自分を手込みにして脅迫の上築行を加へ金指環（代價十二圓四十錢）を奪取して其儘何れとも なく立去りたる儘今日に至る迄何等音沙汰なければ相當の處分を願はしけれとの事に警官は直に扇武號に出張して本人を捕盜犯人として警察署に引致し數日前檢事局に送致したりと

## ●警備艇隊の椿事詳報

▲船体にも多大の損傷あり

慶水根據地に於ける第九號警備艇船の遭難の件は既報せし所なるが其後水田警視より其の筋に達したる報告によれば吉原大尉以下十五名は同醫口頭にて解より同艇に乘移りたる利祝顧現したるものなる原因は風波の爲め左舷に傾きたる際乘組員等右側に片寄りたる爲め機會を打つて覆没したるものにて當時係艇二隻及居合はせる韓船は機敏に救助に努力したるも遂に三名の溺死者を出したるものなりと猶船体にも機關部に多大の損傷を受けたりと云ふ

## ●盜れた道具戻る

原籍山口縣平民當時龍山老松町七十二番戸居留石工職村中猪之助（三）は客年十二月旅韓し京城明治町三丁目飲食店氏名不詳の韓人へ石工道具を預け置きたるに同韓人方に氏名不詳の韓人來り右の石工道具を受取りて歸りたりとの由に猪之助は自分を知れる韓人のために偽欺に救助に努力したるも遂に三名の溺死者を出したるものなりと猶船体にも機關部に多大の損傷を受けたりと云ふ

## ●韓人の煙草泥棒

一昨日の午後三時頃仁川宮町二丁目鈴木なか方の店頭に陳列しある阜月煙草（代金四十錢）を窃取して逃走せんとするものあるより家人は引捕へて其の筋に突き出したるが右現行犯人は本町二丁目井上豆腐屋の雇韓人趙福昌（二）と云ふものにして一時の出來心より此の始末に及び悔悟の念面に現はれ居たれば現品を返還し說諭の上放還したりとか

## ●明洞のボヤ騒ぎ

一昨日午后四時四十分頃京城明洞四十三統六戸沈宣頑方溫突の畑突より發火し附近の者直ちに駆け付け大事に至らずして消止めたるが原因は溫突内に多量の紙片を入れて点火し且つ煙突の掃除不充分の爲め發火し軒縁に燃え移らんとしたるが沈は隣接の係官より畑突の撫除を嚴重に申渡されたり

## ●清韓人の摑合ひ

京城南部第六區汚穢人夫清國人王裕と南部小公洞五十八統五戸李壁運方居留臭五の兩人は一昨十四日午後七時四十分頃南大門通りの二丁目裏に於て喧嘩を爲し居る旨訴へに接し直ちに南部署より警官現場に出張して取調べたるに前記清國人が箕使を擔ぎ通行せしを右臭が兩手を擡げて防害なし故に兩人爭論をなつ初め王は擔棒を以て處嫌はず臭を强たか毆打し臭が携帶の夜燈を破損したれば之が辨償を求めしも王の應ぜざるを大に怒り益々爭鬪を極めたるとの判明したれば兩人共本署に連行て野口部長厚く將來を戒めて釋放したり

## ●穩城の初雪

吉田生

本町五丁目 三一館判斷

十月十六日九月三日六白大安己酉と業務又は官職上快心の事あり

平壤の日なり常事帝務は差障りなし旅行舟下し人學等凶遺失防ぐべし△不快不得要領の日新事見合の事金算精算帳簿印章の事に留意すべし△黑四綠陰鬱にして不快の事多し細心の注意を要す盜害遺失横領防ぐべし尚不良負債防ぐべし△五黃疎漏過誤を生ず酒色賭事を堅く戒しむ△六白胸中の智念猛發し強しむ△八白疑を受くるあり畏るべし尚責任を戒しむ△九紫約束期日遲延あり△赤中正直にあふあり爭論紛爭を減じ取引賣買上鬼間違あり△取引失錯あり取引賣買上鬼間違あり△九紫近親朋友の身上につき世話又は配慮の事あり総じて不穩の日とす

右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同盤の鑑定を請はるる可し

## 無害ノ煙草ヲ

## 直輸入商 卸賣 小賣 日希商會

主任メニヤス 電話二三二番

## 天氣豫報（自十五日午後六時至十六日午後六時）

十四日（華氏） 最高溫度 最低溫度 四〇、一

## 北東の風晴れ後曇

六〇、八

廣告

## 韓國駐劄陸軍倉庫

一磨擦精米 六百石 釜山海岸納
一磨擦精米 五百石 龍山陸軍倉庫納
但入札保證金ハ見積價格ノ百分ノ五以上
入札者ニ當庫ニ就キ入札心得書契約書案標本等熟覽ノ上十一月一日午前十一時入札ス
本契約ハ當倉庫長士屋善穣擔任ス
明治四十二年十月十六日

## 冬物荷揃

京城本町三丁目 電話 二十七番 四七五番

◎嶄新ナル輸入品ノ類例
◎毛布類 羽根布團 膝掛類 帽子類 シヤツ類 諸雜貨 洋酒 洋菓子 シガレツト
◎歐米最新流行品ノ生粹

## 龜屋

## 神戸資生分院 京城梅毒病院

京城相生町（南門湯横）

◎花柳病專門附・痔一般（注射療法）
●入院隨意●

院長 醫學得業士 薩田耕平

## 開業御披露

弊樓儀今般松榮樓跡にて開業致候に付ては客室の裝飾は勿論萬事改善を加へ最も懇切に御扱ひ可申候條何卒賑々敷御來遊被下度伏て奉願上候 敬白

京城新町 清進樓 電話一二三三番

## 診療開始廣告

生儀其後專門學研究の爲め獨逸遊學中の處先般歸朝致し來る十月十一日より若草町二丁目元英國人ハリハファクス氏邸跡（入口三つあり一は若草町一は赤門一進會本部前一は竹園町より）に於て日曜及大祭日を除き毎日

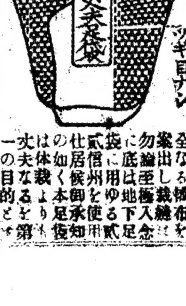
午前八時より正午迄 一般外科患者及花柳病患者の診療に從事す

ドクトル メチチーヲ 和田八千穗（電話千五十八番）

## 營業科目

萬足袋裝束類並に原料品各種 本塲靑縞諸國織紺地下足袋一式 外縫〇土方〇合力〇ロラジ掛 馬丁〇皮付〇靴形〇其他數種 陸海軍諸官省 人夫用被服請負

右品質を精選し特別廉價に調製可仕候間不相變御用命之程偏に奉希上候




今般圖面の如き至極堅牢なる刺甲足袋を製造販賣仕候本品の特色は從來の刺甲足袋は木綿と刺甲との繼ぎ目有り爲めに自然其繼ぎ目より破れ易く且つ座して足を縮める憂ひも有之に付種々苦心の結果繼ぎ目なき完全なる機布を案出し裁縫至極簡單入念に底地下足袋に用ゆる貳信州を使用仕居候依て本足袋御承知の如く其の目的の丈夫なる事を加へ製造致居候依て其名稱の如く丈夫なる事を御實見の上何卒多少に拘はらず御用命の程偏に奉願候

●見本御入用の節は郵税共金二拾七錢御送附被下候はゞ直に送呈可仕候

製造 卸商 澤田儀平商店

電話 東三二一八番 振替口座大坂三八五一番

大坂市本町橋東詰

各種 洗濯石鹸 專門製用 造販賣途

陸軍、鐵道、船舶、鑛道、鑛山、水道湯屋 散髮、諸工業用

京城旭町二丁目 (電話九七三番)

朝日石鹸製造所

## ▲無料紹介欄▼

### 人事部

●募集 敏腕なる外交員至急入用希望者は直接京城本六滯稀新聞社へ來談あれ

●求職 年四十五種實なる身元保證人あり如何なる事務をも歴はず姓名在社(四五五)

●少年入用 十七八才少年入用 大和町一丁目 寫春堂醫院

●藥劑師 病醫院の醫局員として被雇たし 氏名在社(四四八)

職業あり十圓の資本にて一日一圓以上の職業有希望の方は御來談あれ 黄金町三番戸 園松 商會

小僧入用 大和町一丁目 藤井出張店

●賣藥雇 年廿一内地に於て小學校訓導奉職せし者會社商店を不問至急被雇たし 氏名在社(五九九)

●賣家 南山町二丁目二階建二間溫突外八疊外三間井戸附右今月下旬より貸したし家賃面談 氏名在社(五六四)

●雇用就き號又は十二號至急譲受けたし 龍山老松町 上田病院 氏名在社(四六二)

●電話 未設(不日かゝる分)譲渡したし 氏名在社(四六二)

### 物件部

●電話譲渡したし 氏名在社(四四五)

●賣家 南山町二丁目二階建二間溫突外八疊外三間井戸附右今月下旬より貸したし家賃面談 氏名在社(五六四)

●雇用就き號又は十二號至急譲受けたし 龍山老松町 上田病院 氏名在社(四六二)

●電話 未設(不日かゝる分)譲渡したし 氏名在社(四六二)

●貸家 宮町向二、三、六、八疊冠賃平家一棟湯殿物置附屋門構有家賃三十圓 氏名在社(四六一)

●醫院譲渡 京城市内にて有望の地御希望の方は至急申込あれ 氏名在社(四六三)

廣告

滋養品の服用期は今日なり

暑中の牛乳は特更に腐敗し安くして危險なり

次亞燐

次亞燐を持藥として服用せば夏獲せ夏負けの憂ひなく衰弱を防ぎ元氣旺盛なり

効牛乳の數倍

人體之脂

廣告

毎日午後 京城明治町一丁目 開會諸君 子陸續參 臨を賜へ

京城碁會 (大和湯前○万隣) 市中之仙境

消閑之清遊

柳澤鹿之助著 新式 家計簿記 教科書 全代五十五錢 送料四錢

柳澤鹿之助編 會計規則 ニ據ル 諸帳簿 樣代六十錢 送料四錢

附 誤記訂正例(一般會計より特別簿記規程(會計金庫帳簿に至)

京城日の出町七五 京城簿記學校

廣告

煙突取付並ニ煙突掃除大勉强

電四七一番 馬木勇吉

電三六四番 馬木支店

菊花壇

例年の通り弊樓自慢の黄菊白菊數百株 今を盛りと咲き亂れ本日より汎く縱覽に供し候條殿方は申迄もなく壹圓は特に御婦人樣方御連立ち御來觀被下度候尤も本年は歐米の新種輸入致候て韓國無比之菊花壇確かに御一覽の價値有之者と相信じ申候

御參考

御注文に依り御一人前二十錢の茶菓差出候 御會席は御一人前壹圓五十錢にて山海の珍味を供し候

新町 皆遊廓 春樓

暖爐各種

HIGH CLASS TURKISH CIGARETTES HAND MADE D.S.P.A.C.S. D.S. Paneris & Co SAMOS Turkey in Asia REGISTERED TRADE MARK

新荷着廣告

上等トルコ煙草 各種

金口キルクロ百本入、五十本入、廿本入、十本入

上等ロシア煙草 各種

百本入 廿本入

上等葉卷煙草 各種

マニラ百本入、五十本入、廿五本入

右今般多數着荷仕候に付特別安價を以て販賣仕候間多少に不拘御購求被下度尚地方よりの御注文は引換郵便にて迅速に御送附可申上候間續々御注文被下度偏に奉希上候

デーエス・パネリス商會

京城本町四丁目角

(取次電九五六番 電報パネリス)

仁川本町四丁目 顯原兄弟商會

原料直輸入廉價調製各種木形新着

弊店の特色御注文品と否とに不拘材料は精選しスタイルは最新の粹を集め常に顧客の御滿足を得實地御試用被下度候

●京城間は御一報次第店員を派し地方は御一報次第見本帙御送附可仕候

深ゴム靴 特價 六圓五十錢

アミ上靴 五圓五十錢

淺ゴム靴

東京 北村支店

京城本町一丁目(郵便局前) 店主 磯部廣吉謹告

資本金五百萬圓

株式會社百三十銀行 韓國總支店 京城本町二丁目十五番戸 電話五十八番

爲替取組先

大阪、京都、西部、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、櫟原、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、牛田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、宇治山、伏木、新潟、長濱、大垣、岐阜、高崎、小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、鳥取、米子、境、松江、久手、大田、宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田、龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾道、三原、廣、島岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷹、州本、塩釜、德島、善通寺、丸亀、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、函館、小樽、札幌、北海道、台灣、清韓國、慕津、喜南、仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尚州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

★株式會社百三十銀行

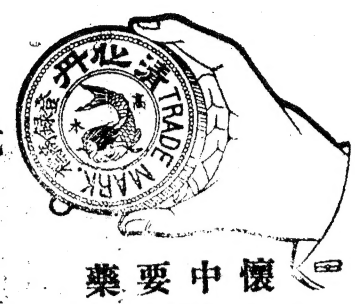
懷中藥 仁丹 THE JINTAN

懷中藥 梅毒滅 各驅黴院實驗證明

完全ナル新藥 マチス リウ

代理店 京城南大門通三丁目 藥井藥房本店 電話一〇六八番九〇四番 京城本町三丁目(電話四七八番) 新井藥房第一分店 京城南大門外 新井藥房第二分店

待合



懷中要藥

清心丹は旅行携帶藥として缺く可からざる良藥にして滿車流船のひを除くること妙

清心丹は高尚なる香氣を含み口熱惡臭を排し咽喉を潤潤ならしむる特効有を以て發聲家其他交際場裡の必携劑なり

清心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし

清心丹は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ

清心丹は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙

清心丹は暑さ寒さあたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を噛み碎き三四回用ゆれば必ず奇効あり

清心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒噛み碎用ひて大に豫防す

清心丹は人魚の商標と高木與兵衛の名櫃へ御注意之上御求めを乞ふ

清心丹は定價金一圓(箱入)五十錢(箱入)冊錢十五錢(體入)十二錢(瓶入)廿錢十錢五錢(紙包)の八種あり

清心丹は製造本舗は東京市日本橋區元大坂町八番地にして取次は全國到る所の有名藥店にて販賣す

京城南大門通三丁目 電話(九百四番千六十八番) 京城本町三丁目(電話四七八番) 京城南大門外

新井藥房本店 新井藥房第一分店 新井藥房第二分店

日韓印刷株式會社

遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應シ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候

營業目科

活版、石版、銅版、各種印刷、帳簿裝釘、書籍製本及ビ印刷、諸材料販賣

本社 京城明治町三丁目 電話三二三番

出張所 東京麹町區麹町八丁目十九番地 電話番町二九〇番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店

米國ウォルサム時計 韓國特約販賣店

米國アンソニヤ時計 獨逸國スカンジヤ 自轉車特約販賣店

時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番

時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

特約販賣 自製 大上商店

漬物 味噌 醬油 製造元 京城本町五丁目

租洋酒、回精酒、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物、荒物、食料雜貨、ビール、米糧、塩辛、日本食鹽各種特約販賣御望に依り商品切手調進仕候 (電話一二五一番)

東京海上運送保險株式會社

明治廿年七月創立● 京城代辨店 本町四山口吳服店 電話九番

資本金一千萬圓● 事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

折箱製造元

京城明治町一丁目五十番戸 滿城病院下横へ入ル

箱信事 鳥山商店

内外科 産科 小兒科 花柳病 入院隨意

京城旭町一丁目 安東病院 電話七十三番

日本郵船株式會社 滿船出帆廣告

仁川出張 貨物及船客取扱店 電話三九番 郡回漕店

●釜山長崎門司神戸行 東丸 十月二十四日正午三時出

●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 十一月十八日正午時出

●大連、太沽、牛莊行 山東丸 十一月九日午前四時出

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 十一月四日正午時出

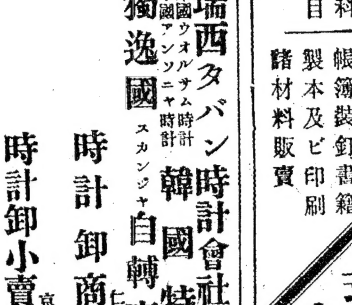
●釜山出帆、元山、清津、浦潮行 立神丸 十月二十七日午後出

御乘船ノ際ハ稅關渡止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候 注意 送迎船ニテ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金壹圓五錢▲三ヶ月前金四錢▲六ヶ月前金七錢▲一年前金壹圓▲廣告料 ▲井物活字九字詰一行一回五十錢▲廣告五號活字十九字詰一行金六十錢

發行人 商木久馬 編輯人 樋久神一郎

發行所 京城新報社



特定御用 清高 荒井牧場 電話一〇五六